

# TransportOrario -TSV- 3.0 リリースノート

TransportOrario -TSV- 3.0 の前バージョンからの変更点について、ご紹介します。  
※本ドキュメントの内容は、予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

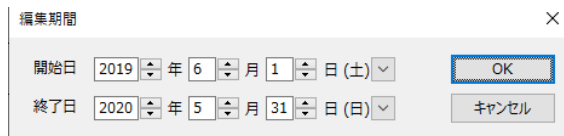
## 1. 動作環境

工程's 12 及び 11 に対応しています。その他動作環境は、工程's 12 の動作環境に準じます。

## 2. 主な変更点

### 2.1. 編集期間の設定項目追加

- ① 設定情報で工程's の編集期間（編集開始日・編集終了日）を設定できるようになりました。



- ② TSV インポートの「編集期間の設定」で、「TSV ファイルの編集期間に合わせる」の項目が追加されました。本項目が指定された場合は、設定情報に設定した編集期間が工程's に反映されます。



## 2.2.ずれと期間の設定に対応

必要資源情報で、工程'sのずれと期間を設定できるようになりました。

No.	名称	山積みグループ名称	タイプ	量	ずれ(日)	期間(日)
1	びげ土工		レベル	7	2	3
2	作業員		レベル	7	3	1

## 2.3.ライセンス管理機能の追加

ライセンス管理機能が追加されました。

## 2.4.デフォルトフォルダに前回と同じ条件を設定する機能の追加

工程'sから TSV インポート・TSV エクスポートを起動する場合、デフォルトフォルダに前回利用したフォルダを設定できるようになりました。

インポートフォルダ: c:\img\tsv-transport\import

インポート

## 2.5.フォルダパス編集機能の追加

TSV インポート・TSV エクスポートで、対象フォルダのパス表示欄を直接編集できる機能が追加されました。

## 2.6. 編集期間設定機能の拡張

TSV インポートの「編集期間の設定」で、「作業バーの存在する期間に合わせる」機能が拡張されました。拡張内容は次の2点です。

- ①編集期間終了日は、「最も遅い工程終了日」ではなく、「工程開始日+期間で最も遅い日」を設定するように変更されました。
- ②グループバーおよびマイルストーンも、編集期間の開始日～終了日の期間内に含めるように変更されました。

## 2.7. UTF-8 の文字コード設定に対応

設定ファイルで入出力時の文字コードを指定できるようになり、UTF-8 にも対応しました。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<SettingClass xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
  <DefaultImportFolderPath>c:\tmp\tsv-transport\import</DefaultImportFolderPath>
  <DefaultResourceFileName>resource.tsv</DefaultResourceFileName>
  <DefaultAvailabilityFileName>availability.tsv</DefaultAvailabilityFileName>
  <DefaultCalendarFileName>calendar.tsv</DefaultCalendarFileName>
  <DefaultRouteFileName>koutei.tsv</DefaultRouteFileName>
  <DefaultRequirementFileName>requirement.tsv</DefaultRequirementFileName>
  <DefaultConstraintFileName>constraint.tsv</DefaultConstraintFileName>
  <DefaultView1FileName>view1.tsv</DefaultView1FileName>
  <DefaultView2FileName>view2.tsv</DefaultView2FileName>
  <DefaultView3FileName>view3.tsv</DefaultView3FileName>
  <DefaultView4FileName>view4.tsv</DefaultView4FileName>
  <DefaultMilestoneFileName>milestone.tsv</DefaultMilestoneFileName>
  <DefaultProjectFileName>project.tsv</DefaultProjectFileName>
  <DefaultSettingsFileName>settings.tsv</DefaultSettingsFileName>
  <!-- 日曜を除外する: ENDDATE TO DURATION -->
  <DefaultCalcType>ENDDATE</DefaultCalcType>
  <!-- 期間の指定単位: DAY/HOUR/MINUTE -->
  <DefaultDurationUnit>DAY</DefaultDurationUnit>
  <DefaultExportFolderPath>c:\tmp\tsv-transport\export</DefaultExportFolderPath>
  <!-- 編集期間の指定: BYBAR/BYCYD/BYTSV -->
  <DefaultEditPeriodSettingUnit>BYKZD</DefaultEditPeriodSettingUnit>
  <!-- 日曜を除外するチェックオプション: MUST/GREATER -->
  <DefaultCheckOption>GREATER</DefaultCheckOption>
  <!-- リフレッシュ対象: 1=1行更新, 2=区分1, 3=区分2, 4=区分3, 5=区分4(対象の番号のみ指定する)-->
  <DefaultRefreshView>1,2,3,4</DefaultRefreshView>
  <!-- パーティション番号: 2,2-2,4-2,5-3,0を指定する -->
  <FileVersion>3.0</FileVersion>
  <!-- フォルダ選択 -- 非表示: FALSE; 表示: TRUE; 非表示 -->
  <!-- 文字コード指定: SHIFT-JIS/UTF-8withBOM/UTF-8withoutBOM -->
  <Encoding>SHIFT-JIS</Encoding>
</SettingClass>
```

## 2.8. その他の修正

- ①製品名が「TransportOrario -TSV-」になりました。
- ②TSV インポートの動作速度を改善しました。
- ③旧バージョン (2.5) の TSV ファイル形式の入出力に対応しました。
- ④環境設定インポート・エクスポートは本製品に含まれなくなりました。今後環境設定インポート・エクスポートは独立した無償アドオンツールになります。<sup>1</sup>
- ⑤実行ファイルの名称がツールの名称に合わせて変更されました。<sup>2</sup>
- ⑥フォルダ選択画面の UI を改良しました。

<sup>1</sup> ダウンロード URL はバージョンアップガイドをご参照ください。

<sup>2</sup> 変更内容は以下の通りです。

KzdApp908.exe ⇒ TsvImport.exe

KzdApp909.exe ⇒ TsvExport.exe

KzdApp910.exe ⇒ RefreshRow.exe

KzdApp911.exe ⇒ CheckForSchedule.exe